

平成 30 年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第 9 条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

平成30年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等	価格
1	アリス館	はみがきれっしゃ しゅっぱつしんこう！	生活	知的障がい	小学部・1年	¥1,080
2	学研	いっしょにあそぼ あかあかくろくろ	国語	視覚障がい	小学部・1年（重複学級）	¥950
3	学研	はっけんずかんブチ からだ	生活	病弱	小学部・2年（重複学級）	¥950
4	教育画劇	もし、あなをずっとほってくとちきゅうのうらにでられるの？	理科	病弱	中学部・2年（重複学級）	¥1,296
5	教育画劇	おなかのこびと	生活	知的障がい	小学部・4年	¥1,188
6	金の星社	音の出る とけいえほん いま なんじ？	数学	知的障がい	中学部・2年	¥2,052
7	こぐま社	てんじつき さわるえほん こぐまちゃんとどうぶつえん	国語	視覚障がい	小学部・5年（重複学級）	¥1,296
8	小学館	小学館子ども図鑑NEO 楽しく遊ぶ学ぶくふうの図鑑	社会	聴覚障がい	中学部・2年（重複学級）	¥3,024
9	小学館	あーとぶっくひらめき美術館第1館	美術	聴覚障がい	中学部・3年（重複学級）	¥1,890
10	小学館	はめえデコボコえほん ちよっとずつちよっとずつ	国語	知的障がい	小学部・3年	¥1,620
11	小学館	にほんのマナーえほん	社会	知的障がい	中学部・3年	¥1,296
12	大日本絵画	おにわのおと	国語	肢体不自由	小学部・2年（重複学級）	¥2,160
13	チャイルド社	チャイルドブックこども百科 なりたい！わくわく！おしごとずかん	職業・家庭	知的障がい	中学部・2年	¥1,728
14	永岡書店	ポップアップおはなしえほん どうぶつむらのとびだす！やさいばたけ	生活	病弱	小学部・2年（重複学級）	¥950
15	ひさかたチャイルド	漢字えほん	国語	聴覚障がい	小学部・5年（重複学級）	¥1,728
16	福音館書店	かがみのえほん ふしぎなにじ	生活	肢体不自由	小学部・5年（重複学級）	¥1,620
17	福村出版	シリーズ生活を学ぶ⑥ わたしたちのからだ	保健体育	知的障がい	中学部・1年	¥2,160
18	ポプラ社	さわってたのしむ点字つきえほん1 かず	数学	視覚障がい	中学部・1年（重複学級）	¥2,160
19	ポプラ社	音の出る知育絵本4 こえておぼえるあいうえおのほん	国語	知的障がい	小学部・5年	¥1,998
20	ポプラ社	音の出る知育絵本② 脳科学からうまれた かおたちえほん	算数	肢体不自由	小学部・1年（重複学級）	¥2,354

2 一般図書選定の理由書（次頁）

一般図書選定の理由書

番号	1
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	はみがきれっしゃ しゅっぱつしんこう!	発行者名	アリス館		
図書の内容	<p>本書は薄く軽量で持ちやすい絵本である。登場人物の男の子や歯ブラシは、優しい色遣いで描かれている。歯ブラシを列車、歯を「まえのはえき」「おくのはえき」など駅に見立てており、見立て遊びの段階の児童が好む設定である。また、文面には「しゅっしゅっしゅっ」の擬音が繰り返して出てくる。読んで楽しむだけでなく、歯ブラシを口に入れる時、みがく時に周囲の人が「しゅっしゅっしゅっ」と口ずさむことで歯みがきへの抵抗を和らげ、さらには楽しんで歯みがきができるような内容となっている。</p>				
対象学年	小学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達が2歳程度の知的障がいの児童である。調子のよい状態であれば「置いて」「ちょうだい」等の簡単な指示を理解して動いたり「かー（お母さん）」「むー（自分）」と話したりすることができる。また、絵本を好み、「いないいないばあ」等繰り返しのフレーズを教師に読むように何度も要求する様子が見られる。</p> <p>歯みがきが苦手な本児に対し、本書を読むことからはじめ、本児の好きな繰り返しのフレーズ「しゅしゅしゅ」を用いながら、楽しく歯みがきできるようにしたいと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に読む。 (2) 歯ブラシを「はみがきれっしゃ」に見立て、教師が絵本にあてて動かす様子を見て楽しむ。 (3) 歯ブラシを持ち、絵本にあてて動かす。 (4) 絵本を読みながら教師と一緒に歯みがきをする。 (5) 絵本を読みながら教師の見守りのもと歯みがきをする。 (6) 給食後、教師と歯みがきをする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	2
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		いっしょにあそぼ あかあかくろくろ		発 行 者 名	学 研	
図 書 の 内 容		<p>本書は、赤・黒・白といったコントラストの強い配色の線や形の挿絵が目を引き絵本である。厚紙でしっかりした作りになっており、ページも開きやすく破れにくい。白の背景に赤のりんごや赤の背景に黒の長靴、黒の背景に白の雪だるまなど視力の弱い児童でも注視して絵本を見ることができる。</p> <p>「あかいね」「あかあかりんご」「あかしろすいすいきんぎょ」「くろだよ」「くろくろながぐつ」「しろしろくろくろわんわん」などのように、ページが進むにつれてイメージが広がっていく内容である。</p>				
対 象 学 年		小学部1年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、両目で0.03の弱視の児童であり知的障がいを併せ有する、発達年齢3歳程度の児童である。ことばが少なく、発音は不明瞭であるが、教師に本を読んでもらうことが好きになり絵本に興味をもつようになってきている。視覚の障がいから視野がせまく、絵に注視することが得意ではないが、好きなキャラクターに注目したり、顔を動かして全体を見ようとしたりするようになってきた。</p> <p>コントラストの強い配色に興味をもつことにより、挿絵に注目することができ、何度も繰り返し絵本を読んでもらうことにより、語彙の拡充につながるものとする。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 挿絵に注目し、何が描かれているのか教師と一緒に見て話す。</p> <p>(2) 本を読んでもらって楽しむ。</p> <p>(3) 「赤いりんごはどこ。」「黒い長靴はどこ。」という質問に指差す。</p> <p>(4) 「りんご」「長靴」などの物の名前を復唱する。</p> <p>(5) 物の名前を質問したり答えたりする。</p> <p>(6) 挿絵の穴が開いている部分を触察で確認する。</p> <p>(7) 挿絵の穴から見える風船の色を答える。</p> <p>(8) 目・顔を動かさず、絵を注視するなど、視力を活用した学習を行う。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	3
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	はっけんずかんプチ からだ		発行者名	学研	
図書の内容	<p>本書は、「からだ」、「かお」、「て」、「ほね」、「は」について学習ができる絵本である。仕掛け絵をたくさん使っているので、わくわくドキドキしながら楽しく学習ができる。からだのページでは、前向きの子供の体の部分が仕掛け絵になっていて、それをめくると体の後ろから見た体の様子が載っている。かおのページでは、仕掛け絵をめくると表情が変わり、うれしい時、悲しい時、怒っている時の顔を作ることができる。うごきのページでは、ボールを投げる、片足立ち、スキップしている挿絵がありページをめくるとその動きをしている骨の挿絵が載っており、興味をもって体について学習できる内容である。</p>				
対象学年	小学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、慢性疾患のため長期入院をしており、知的発達が3歳程度の児童である。身辺自立は、一部介助を要する。</p> <p>さまざまな事に疑問をもち「これなあに。」と何度も質問することが多くなってきた。おおまかな体の名前を覚え、手の動きや体の動きにも興味をもってきている。教師と一緒に本書を見ながら、自分が指差した物を声に出して読んでもらったり、自分がページをめくって場面を変える楽しみを感じたりしながら、意欲的に学習に取り組むことにつなげたい。</p> <p>写真やイラストを使っての学習が好きなので楽しく学習ができると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 体の部位の名前を確認する。</p> <p>(2) 体の部位の名前を教師に言われたら本の挿絵や自分の体を指差す。</p> <p>(3) 本の挿絵や自分の体を指差して体の部位の名前を声に出して話す。</p> <p>(4) うれしい時、悲しい時、怒っている時の顔を、仕掛け絵をめくって表す。</p> <p>(5) 「てのひみつ」、「からだのうごきのひみつ」、「ほねのひみつ」を知る。</p> <p>(6) 「てのひみつ」の写真と同じ手の形を作る。</p> <p>(7) 食べた後に食べた物がどこに行くか、おなかの中を仕掛け絵でのぞいて調べる。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	4
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	もし、あなをずっとほつてくとききゅうのうらにでられるの？		発行者名	教育画劇	
図書の内容	<p>本書は、クマの三兄弟が、地球に穴を掘って、地球の裏側へ向かうストーリーである。縦長のページ構成により、深く穴を掘っていく様子がイメージしやすくなっており、読みやすい絵本である。</p> <p>また、地震の仕組みについて理解しやすいように、プレートを動かす仕掛けが施されていたり、地球の内部や地球の活動、昔の人の考え方なども分かりやすく説明されており、自分たちが住んでいる地球を通じて、自然や科学に興味・関心をもてるような内容である。</p>				
対象学年	中学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	理科
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、慢性疾患で入退院を繰り返しており、知的障がいを併せ有している。病状の変化に伴い、生活場面や学習場面に活動制限はあるものの、調べ学習や実験、見学などの体験的な学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>本書で扱われている地球の裏側や地震について仕掛けを動かしながら学習することで、自然環境や自然災害についての関心をもって意欲的に学習し、理解を深めることにつながると考える。また、自分の考えを発表したり、教師や友達と一緒に調べ学習をしたりするなど、様々な授業を展開できると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を読む。</p> <p>(2) 「なぜ、地震が起きるのか」を考え、発表する。</p> <p>(3) 教師と一緒に絵本の地震の仕掛けを作り、仕組みを知る。</p> <p>(4) 知っている地震や経験した地震について発表する。</p> <p>(5) 日本の地震と世界の地震について、地域や回数について調べ、発表する。</p> <p>(6) 地震から身を守るための行動を考える。</p> <p>(7) 地球の活動や昔の人の考え方について、本書で確認する。</p> <p>(8) 身近な自然現象の変化について、友達と一緒に調べて発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	5
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	おなかの こびと		発行者名	教育画劇	
図書の内容	<p>本書は、お腹の中に「こびと」が住んでいる設定で、「食べ過ぎたり」「飲み過ぎたり」「寝ながら食べたり」「お腹を冷やしたり」するとどうなるのかを考えながら、正しい行動を考える内容となっている。本書では、「好き嫌いしない」「よく嘔む」「よく寝る」「よく遊ぶ」などのことを紹介しており、子どもと一緒に実践することができる内容である。</p> <p>自分の食事の仕方が自分の体調や生活につながっていることを楽しみながら学習することができる内容となっている。</p>				
対象学年	小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達が5歳程度の知的障がいの児童である。平仮名のマッピングができるようになってきている。身近な物に使われている平仮名の読み書きもできるようになってきており、絵本を用いて楽しく平仮名を読む学習活動に取り組んでいる。また、食べることへの関心が高い一方で、健康な生活を送るための食育について、改善に取り組んでいる児童でもある。</p> <p>本書では、食べ過ぎるとお腹の中がどうなるのかをイラストで表現しているため、児童にとっては意識しにくいお腹の中を具体的に考えることができる。また、正しい行動についてもイラストで表現されているので、正しい行動を意識することができると思う。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を読む。 (2) 自分の食べ方を振り返る。 (3) 本書で適切でない食べ方を確認する。 (4) どんな食べ方がよいのか考える。 (5) 本書で正しい食べ方や生活について確認する。 (6) 正しい食べ方を給食場面で実践する。 (7) 生活や食べ方で気をつけることをまとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	6
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	音の出る とけいえほん いま なんじ?		発行者名	金の星社	
図書の内容	<p>本書は、時計の読み方を覚えることにつながる、音の出る図書である。本書では、時計の読み方や操作について、色を変えて強調したり、針の進む方向に矢印を入れたりするなど基本的な内容が分かりやすく説明されている。</p> <p>また、本書を読みながら、実際に時計の針を動かして時刻をあわせ、自分で確認できる仕組みになっているので、視覚、聴覚、触覚など複数の感覚を使って学べる内容である。時計は長針と短針が色分けされており、1時間の示す範囲も色分けされ、1分ごとに分表示されているなど理解しやすい工夫が施されている。</p> <p>さらに、「とけいあわせクイズ」や「せいかつクイズ」などもあり、実生活に結びつけて考える内容になっている。遊ぶ活動も取り入れながらアナログ時計の読み方が学べ、楽しみながら時計に親しむことができる内容である。</p>				
対象学年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	数学
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達が5歳程度の知的障がいの生徒である。数字への興味を示すようになってきており、「朝の会」では時間割の数字を読んだり、書いたりすることができる。本生徒は、スクールバスやデイサービス利用をしており、決められた日課に従って生活する場面が多い。</p> <p>本書は分かりやすい説明と簡単な操作により時刻の読みを覚えることができる。説明を見ながら基本的な時刻を読む段階から、実際の生活の流れに沿って時刻を読む段階まで幅広く活用でき、生徒の理解状況に応じながら進めることができる内容になっている。本生徒の好きなクイズ形式も取り入れながら、本書を通して時刻が読めるようになることで、一日の生活の流れに見通しをもち、時刻を意識して行動できるようになると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本書を読みながら、長針を動かし、長針が動くことで短針が動くことを知る。</p> <p>(2) 日課に沿った絵カードを使用して、本児の身近な「〇時」の時刻について、実際に針を操作して読んだり表したりする。</p> <p>(3) 日課に沿った絵カードを使用して、本児の身近な「〇時30分」「〇時10分」「〇時15分」の時刻について、実際に針を操作して読んだり表したりする。</p> <p>(4) 本書の「りすくんの一にち」を見ながら、一日(24時間)の生活の流れにあわせて実際に針を操作して読んだり表したりする。</p> <p>(5) 「とけいあわせクイズ」や「せいかつクイズ」のチャレンジ問題を解く。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	7
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	てんじつき さわるえほん こぐま ちゃんとどうぶつえん		発行者名	こぐま社	
図書の内容	<p>本書は、点字付き絵本である。文章が点訳されて、さらに、挿絵の様子をイメージできるように挿絵の説明が点訳されている。本文と挿絵の部分が点線で分かれており、オレンジ、黄色、緑、青を中心とした色彩の鮮やかな挿絵になっている。点や線などで模様を作り挿絵も触って楽しめるようになっている。</p> <p>本を広げるとすべてのページが触れるように置くことができ、好きなページからすぐに点字を読めるようになっている。広げたまま本を読み終わると隣に始めのページがきて繰り返し読めるようになっている。</p>				
対象学年	小学部5年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、光覚があり知的発達が8歳程度の児童である。点字で簡単な単語の読み書きはできるようになってきた。簡単な色の区別ができ残存視力を最大限生かして生活している。</p> <p>挿絵の色を楽しんだり、手触りを楽しんだりすることができるので、教師の説明を聞きながら絵本の色や手触りから感じる挿絵のイメージを広げることができると考えられる。</p> <p>読みやすく短い文章を何度も繰り返し読む、転写する、聴写することにより、点字の文章の読み書きを楽しく行うことができると考えられる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 挿絵と本文の書いてある部分を確認する。</p> <p>(3) 挿絵の説明を聞いてイメージしながら挿絵の点字を読む。</p> <p>(4) いろいろなページの動物を見つける。</p> <p>(5) 挿絵の説明を聞いてイメージしながら挿絵の様子を手触りや色でつかむ。</p> <p>(6) 本文の点字を読む。</p> <p>(7) 本文を転写する。</p> <p>(8) 本文を聴写する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	8
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	小学館の子ども図鑑 NEO 楽しく遊ぶ 学ぶ くふうの図鑑		発行者名	小学館	
図書の内容	<p>本書は、「くふうはおもしろい」「くふうをみつけよう」「くふうすればできる」「こんなときどうする」の段階的な項目に分かれている。</p> <p>「ものさしがなくてもながさはわかる」「とけいがなくてもじかんはわかる」「びちゃびちゃのくつをかかわかす」「せんたくきがつかえなくてもあらえる」「みずがでなくなったら」「こんなところでじしんがあったら」など普段の工夫から災害にそなえた工夫などいろいろな角度からの工夫について取り上げている。</p>				
対象学年	中学部2年（重複学級）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	社会
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴力が左右とも 95dB の聴覚障がいと知的障がいを併せ有している。基本的な生活習慣は、ほぼ確立している。学習については、小学校中学年の学習を行っている。</p> <p>学習内容を生活と関連付け、生活場面で生かすことにより、現在の生活の充実と将来の自立につなげていくことが大切である。</p> <p>生活の中で自分なりに工夫して行っていることが時々みられ、本書を活用しながらいろいろな工夫について知り、繰り返し実践することにより、生活に役立ったり身に付けたりしていくことにつながると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 興味・関心のある項目のページを教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 実際に体験できるものを行う。</p> <p>(3) 行って分かったことをまとめる。</p> <p>(4) まとめたことを発表する。</p> <p>(5) わかるかな？クイズをする。</p> <p>(6) さらに工夫できることを考え発表する。</p> <p>(7) 生活の中において自分で工夫できるように繰り返し活動する。</p> <p>(8) 生活の中において自分で工夫してみた事柄について、発表する。</p>			

（記入上の注意）

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	9
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	あーとぶっく ひらめき美術館 第1館	発 行 者 名	小学館		
図 書 の 内 容	<p>本書は、世界的に有名な画家や彫刻家の作品を多数取り上げており、それぞれの作品で不思議な所や工夫されている所に解説を加えて、紹介している。本書の中では、作品を自由に感じ、味わい、想像し、自分で表現することを大切にしており、生徒の自由な発想や感性を育むことができる内容となっている。また、一つの作品を通して、友達同士の意見交換の場を設定し、関わり合いながら学習を進めることも期待できると考える。</p>				
対 象 学 年	中学部3年(重複学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	美術
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴力が左右とも90dBの聴覚障がいと軽度の知的障がいを併せ有している。小学部段階から作品作りや制作活動に意欲的で、豊かな感性をもっている生徒である。特に、絵画に興味があり、作品の模写や自画像、風景画を自分の余暇時間を利用して楽しんでいる。</p> <p>本書は、世界的に有名な画家たちの独創的な作品が数多く紹介されており、作品の技法を模倣したり、想像したりする学習に用いることができると考える。また、自分の好きな作品を発表したり、友達と意見交換をしたりする場面で使用することができ、生徒の自由な発想や感性を広げていくことにつながると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 絵本を見て、自分の知っている作品を見つける。 (2) 自分の好きな作品を選ぶ。 (3) 好きな作品の理由を考える。 (4) 友達の考えを聞き、意見交換をする。 (5) 作品を模写する。 (6) ピカソになったつもりで絵を描く。 (7) ヴィーナスの腕を想像して描く。 (8) 作品の不思議な所や工夫されている所について考える。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	10
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	はめえデコボコえほん ちよつとず つちよつとず	発行者名	小学館		
図書の内容	<p>本書は全14ページからなり、適度な厚みがあるしっかりとした作りとなっている。児童がはめ込まれているパーツを取り出して、型はめを行うことやパーツを移動させながら読み聞かせを一緒に楽しむことができる。また、パーツや本にある凹凸の部分の指で触って形をなぞることもできる。パーツとして登場する「小鳥」「お日様」「友達」「小枝」「赤ちゃん」「りんご」を動かすときには、「パタパタパタパタ」や「だれかな?」「こんにちは」「ジャンプ」などの言葉が本文に添えられているため、物を介した他者とのやりとりの学習にも期待できる。</p>				
対象学年	小学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達が4歳程度の知的障がいの児童である。自分の好きな店のロゴマークに興味があり、じっと見たり、触ろうとしたり、教師に読んでもらうために指差したりすることがある。また、マッチング課題や色や形の弁別などの学習ができるようになってきており、今後は教師と一緒に読み聞かせを楽しみながら色や形のマッチングや文字への興味関心を引き出していく段階であると考えられる。</p> <p>本書は、はめ込まれているパーツを取り出すことができ、見るだけでなく触って確かめることができる。そのため、手や指で直接触ることでパーツの形がイメージでき、パーツを動かしながら読み聞かせを楽しむことができると考える。また、パーツを取り出したり、凹み部分に型はめをしたりと自分から働きかけていこうとする、意欲的な学びにもつながると考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 凹凸部分を触りながら本を見る。 (2) 鳥やお日様、りんごのパーツを指で触りながら具体物として捉える。 (3) パーツを触り、形を意識する。 (4) パーツを取り出して、教師と一緒に型はめができることを知る。 (5) パーツを取り出して、自分で型はめに取り組む。 (6) パーツを動かし、教師と一緒に読み聞かせを聞く。 (7) 自分でパーツを動かし、絵本を楽しむ。 (8) 教師や友達と一緒にパーツの受け渡しを楽しむ。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	11
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		にほんの マナー えほん		発行者名	小学館	
図書の内容		<p>本書は「あいさつ」「おつきあい」「和室のきまりごと」「食べかた」等現代の家庭では学ぶ機会が少なくなりつつある内容が盛り込まれている。また、季節の行事と関連させて、順に構成されており、実際の生活に生かしながら理解しやすいと思われる。</p> <p>内容については「箸の持ち方」や「年上の人へのことばの使い方」「洋服のたたみ方」等日常生活の基本からテーブルマナーまで幅広い。イラストが見やすく、してはいけないことは×、ポイントは「おぼえておこう」と強調されており理解しやすい内容である。</p>				
対象学年		中学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	社会
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達が9歳程度の知的障がいの生徒である。小学校は通常の学級や特別支援学級で学び、中学部になってから特別支援学校で学んでいる生徒である。集団の中での自分の立ち居振る舞い方に支援が必要である。様々な決まりごとの上に社会生活が成り立っていることを折に触れ学習してきている。</p> <p>本生徒は将来、可能な限り自立して生活していくことを目標にしている。</p> <p>本書は、季節の行事に沿って具体的な場面をイラストで説明してあることから、本生徒が普段の生活の中での自分の行動を振り返ることができ、望ましい行動を知ることができると考えられる。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に読みながら知っているマナー、知らないマナーを確認する。</p> <p>(2) 知っているマナーについて、しっかりとできているか確認する。</p> <p>(3) 知らないマナーについて、普段の行動を振り返る。</p> <p>(4) 知らないマナーについて、正しい行動の仕方を確認する。</p> <p>(5) 実際の場面で確認し、実践する。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	12
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		おにわのおと		発行者名		大日本絵画	
図書の内容		<p>本書は、10 ページからなり、各ページに一カ所ずつ音が出る仕掛け絵本である。音としては、「小鳥の鳴き声」「蜂やバッタの羽音」「雨の音」「魚の水しぶき」「カエルの鳴き声」などがあり、凹みの部分に指や手が触れることで音が出る仕掛けとなっている。鳴る音も穏やかな音であり、児童にとっても聞きやすい音であると考え。また、穴が開いていたり、凸凹があつたりと、触った感触を楽しむこともできる絵本である。</p> <p>児童の触覚と聴覚に働きかけることができ、外にいる生き物や自然の音をイメージしやすい内容となっている。</p>					
対象学年		小学部2年生(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語	
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、肢体不自由と知的障がい、視覚障がいを併せ有している。日常生活では、全般において支援が必要としている。母親や馴染みのある大人の声を聞いたり、手で物に触ったりすることで表情が和らぐことがある。絵本を読み聞かせすることで、目を大きく開けたり頭を左右に動かしたりすることがある。また、本児が心地よいときには、声を出すことがある。</p> <p>本書を読み聞かせするときに、教師が児童に問いかけるように読んだり、音や感触への期待をもてるように強弱をつけて読んだりして、本児の表情の変化や発声、外にいる生き物や自然を知るきっかけ作りになると考える。</p>					
	指導の概略	<p>(1) 教師による読み聞かせを聞く。 (2) ページを順番に手や指で触り、音を確認する。 (3) 自分の好きな音や感触を探る。 (4) 音が出る仕掛けを自分で押す。 (5) 外に出て、生き物の鳴き声や自然の音を聞く。 (6) 外に出て、草や花などの自然に触れる。 (7) 絵本に登場する「小鳥」「蜂」「カエル」などが登場する曲を聞く。 (8) 教師と一緒に好きな音や感触がある「おにわの世界」を制作する。</p>					

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	13
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	チャイルドブックこども百科 なりたい!わくわく!おしごとずかん		発行者名	チャイルド社	
図書の内容	<p>本書は、生徒たちに人気の仕事をわかりやすく取り上げ、将来「なりたい」夢や「かなえたい」気持ちをもち、そのためにがんばる意欲を育てることにつながる本である。本書で紹介されている仕事は21種類あり、加えて関連する仕事も数多く紹介されている。内容は、仕事に使用する道具から仕事の内容、手順まで詳しく紹介されている。イラストもとても見やすく「やってみたい、なってみよう」と興味・関心をもてる内容である。また、「インタビュー」の欄があり、実際仕事に従事している人の声が掲載されている。将来の生活を考えて、今何をがんばるべきかを考える一助となる一冊である。</p>				
対象学年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、知的発達に9歳程度の知的障がいの生徒である。漫画を描くことが好きで、将来の仕事については専門学校に進学して漫画家になりたいと話している。</p> <p>将来、働くことを見据えながら、作業学習や朝のランニングなどに意欲的に取り組んでいる。併せて基本的な生活習慣や態度についても学校生活の中で、必然性のある場面で学習しているところである。</p> <p>本書は多岐に渡る仕事に掲載されており、本生徒にとっては様々な職業があることを知ったり、興味を広げたりすることができると思われる。また、進路の学習や校内での作業実習の導入としても、将来に向けて今すべきことの確認等活用できると考えられる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 本の中から自分のなりたい職業を探す。</p> <p>(2) 興味のある職業について、教師と一緒に調べまとめる。</p> <p>(3) 興味のある仕事につくために必要な勉強や学べる学校を調べ、まとめる。</p> <p>(4) 興味のある仕事につくために、今すべきことは何かを教師と一緒に考え、まとめる。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	14
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ポップアップおはなしえほん どうぶつむらのとびだす！やさいばたけ		発行者名	永岡書店	
図書の内容	<p>本書は、5種類の野菜がページをめくると飛び出したり、立ち上がったたりする仕掛け絵本である。登場する野菜は、「にんじん」「さつまいも」「えんどうまめ」「かぶ」「きゃべつ」と、児童にとって馴染みのある野菜である。絵本では、収穫の場面が描かれており、野菜の栽培学習と関連をもたせることもできる。</p> <p>また、「いち、にの、さん」とかけ声が物語の中で、繰り返されていることから友達と協力して収穫することの喜びを感じることができると考える。</p>				
対象学年	小学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、慢性疾患に知的障がいを併せ有している。また、入退院を繰り返しており、学習空白が多い。知的発達は5歳程度で、プランターでの植物の栽培を行ったことはあるが、病状の変化により、畑での収穫などを行った経験が不足している。また、友達とのやりとりに消極的な一面もある。</p> <p>そこで、本書を活用することにより、野菜の収穫場面に興味を引き出し、理解につなげていくことができると考える。また、本児の体調を考慮しながら、実際にプランターで栽培活動に取り組み、収穫や調理の学習活動を行うことで自然と触れ合う経験の拡大や興味関心、他者との関わり合いを広げていきたいと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に読む。 (2) にんじんについて知る。 (3) さつまいもについて知る。 (4) えんどうまめについて知る。 (5) かぶについて知る。 (6) きゃべつについて知る。 (7) 栽培計画を立てる。 (8) 実際に栽培し、観察する。 (9) 収穫を教師や友達と一緒にやる。 (10) 教師や友達と一緒に調理活動に取り組む。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	15
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	漢字えほん		発 行 者 名	ひさかたチャイルド	
図 書 の 内 容	<p>本書は、小学校1年生で習う漢字80字と、小学校2年生で習う漢字4字を取り上げている。漢字への興味を広げることをねらって、「読み」「書き順」「使い方」「成り立ち」を紹介している。まだ文字を読めない児童でもイラストを見ながら楽しむことができ、文字や漢字に興味を広げることができる。</p> <p>「しぜんをあらわす漢字」「人をあらわす漢字」「生きものをあらわす漢字」「うごきやようすをあらわす漢字」「くらしでつかう漢字」「すう字の漢字」に分かれてまとめられている。</p>				
対 象 学 年	小学部5年(重複学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	<p>児童生徒の実態</p> <p>本児は、聴覚障がいがあり知的発達が7歳程度の児童である。聴力は左右ともに90dBであり、補聴器をつけた状態で相手と対面し、大人がゆっくり大きな声ではっきり話す言葉が聞き取れる。</p> <p>日常生活のリズムも整い学習に集中できるようになってきている。</p> <p>自分の名前の漢字を覚え他の簡単な漢字にも興味湧いてきている。朝の会で使われる学習内容の漢字は書くことは難しいが読むことができる。</p> <p>簡単な日記を毎日書いており、5個ぐらいの覚えた漢字も丁寧に書くことができる。</p>	<p>指導の概略</p> <p>(1) 「しぜんをあらわす漢字」を学習する。</p> <p>(2) 「人をあらわす漢字」を学習する。</p> <p>(3) 「生きものをあらわす漢字」を学習する。</p> <p>(4) 「うごきやようすをあらわす漢字」を学習する。</p> <p>(5) 「くらしでつかう漢字」を学習する。</p> <p>(6) 「すう字の漢字」を学習する。</p> <p>(7) 読み方、書き順を確かめる。</p> <p>(8) 漢字の成り立ちを知る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	16
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		かがみのえほん ふしぎなにじ		発行者名	福音館	
図書の内容		<p>本書は、左と右のページの絵が互いに映り込んで一つの絵となり、楽しむことができる仕掛け絵本である。「にじ」や「花火」が鮮明になるように、背景色は黒や銀となっており、ページをめくる早さや角度によっても絵の広がりも異なってくる。</p> <p>絵本の作りもしっかりとしており、開いたり閉じたりを繰り返すことが可能な作りとなっている。また、子どもの顔や手、指なども絵本に映り込むため、注視しやすく、自分から手を伸ばしやすいものであると考える。</p>				
対象学年		小学部5年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、先天性による両上肢、下肢機能障がいであり、知的障がいを併せ有している。身辺処理は全介助であるが、自分で用具を持ったり、わずかに動かしたりすることができる。少しずつ周囲の人や物をじっと見て楽しむことが増えてきており、自分が欲しい物には自分から手を伸ばしたりすることができるようになってきた。</p> <p>本書は、教師と一緒に絵本を見る中で、鏡のように左右の絵が映り込む仕掛けに興味を示し、自分から絵本に手を伸ばしたり、頭を動かして立体的な見え方の違いを楽しんだりすることができると思う。また、繰り返し本をめくることで周囲への働きかけや物を注視することの素地を高めることが期待できると考える。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を楽しむ。</p> <p>(2) 教師と一緒に絵本に触れてみる。</p> <p>(3) 教師と一緒に絵本のめくり方を変えて、楽しむ。</p> <p>(4) 教師と一緒に絵本に指や顔を映してみる。</p> <p>(5) 教師と一緒に絵本を動かして見え方の違いを楽しむ。</p> <p>(6) 絵本に描かれている「にじ」や「花火」の絵を描く。</p> <p>(7) 自分が描いた絵を鏡に映して、見え方を楽しむ。</p>				

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	17
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	シリーズ生活を学ぶ6 わたしたちのからだ		発行者名	福村出版	
図書の内容	<p>本書は、体のことを中心に「健康な生活を送るためにはどんなことが必要か」「病気になったりけがをしたりした時どうすればよいか」「大人になると体にどんな変化があるか」等生徒達が知っておくべき基本的な事柄がイラスト入りで丁寧に書かれている。また、生徒が読みやすいよう大きな字体で漢字にはルビがふってある。</p> <p>また、本書の内容は、家庭生活や学校生活に密着しており、日々健康に生活していくために必要なことやその理由が説明してあり、生徒が読んで理解しやすい内容である。</p>				
対象学年	中学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	保健体育
選定の理由	児童生徒の実態	<p>知的発達が8歳程度の知的障がいの女子生徒である。脳腫瘍の治療の副作用もあり、体の成長はゆっくりである。</p> <p>異性への意識は低い。体の成長に伴い、中学生らしい異性との関わり方を知っておくことが必要となってくる。</p> <p>本書は「からだの成長」「女の子の成長」「としごろになったら」等の項目があり、一緒に読みながら確認したり、納得できるまで話をしたりするために有効であると考えられる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 「健康的な生活」について読み、実際の生活に照らし合わせて確認する。</p> <p>(2) 「病気やけが」について読み、実際の生活に照らし合わせて確認する。</p> <p>(3) 「大人になっていく時の体の変化」について読み、実際の生活に照らし合わせて確認する。</p> <p>(4) 中学生としての異性との接し方について読み、実際の生活に照らし合わせて確認する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	18
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	さわってたのしむ点字つきえほん1 かず	発行者名	ポプラ社		
図書の内容	<p>本書は、点字がついている絵本である。</p> <p>1から10までの点字と挿絵があり、短文にも点訳がついている。</p> <p>「1」のページには、墨字の1と点字の1が書かれており「1まいの うわぎ。さむい ひに きるよ。」と短文が墨字と点字でついている。挿絵の上着の絵が型抜きされていて分かりやすく、他の挿絵もすべて材質の違う物を扱っており、触覚でも楽しむことができる。また、1枚、2匹、3個、4本など助数詞の学習もできる。</p>				
対象学年	中学部1年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	数学
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、全盲で知的発達が7歳程度である。点字にも興味をもち始め50音の読み書きができ、さらに、読み書きができる単語も増えてきている。</p> <p>落ち着いて行動することができるようになってきたが、集中力が続かないときがある。環境を整えることで課題に集中する時間も増えてきている。</p> <p>数字や数えるということにも興味をもち始めているので、1個1個触りながら確実に数えること、点字の短文を読む学習を楽しく行うことができると考えられる。本書を活用しながら繰り返し学習することにより、短文を点字で読んだり打ったりすることができると思う。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 1から10の点字の数字を読む。</p> <p>(2) 挿絵の数を触って確かめる。</p> <p>(3) 挿絵を数えて何個あるか考える。</p> <p>(4) 短文を読む。</p> <p>(5) 助数詞をつけて1から10まで数える。</p> <p>(6) 短文を読んで、1から10のどのページか考える。</p> <p>(7) 短文を転写する。</p> <p>(8) 短文を聴写する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	19
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	音の出る知育絵本4 こえでおぼえるあいうえおのほん		発行者名	ポプラ社	
図書の内容	<p>本書は平仮名を「聞く、読む、書く」のステップを取り入れ、段階を追って習得できる内容になっている。50音の文字を押すと1音ずつ音声が出る。「もじ」のボタンを押すと1音ずつ、「たんご」のボタンを押すと2から5文字の単語の問題が出題される。さらに絵を見ながら文字ボタンを押してしりとりする問題もできる。問題はその都度正解や不正解の音も出ることから、自分の押した文字が合っているか否かの確認も即座にできる。</p>				
対象学年	小学部5年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、知的発達が5歳程度のダウン症の児童である。自分の名前は平仮名、漢字で読みや書きができるものの、それ以外の平仮名50音については、身近な教師や友達の頭文字を数語読める程度である。物の名前などは比較的理解でき、絵を見て名前を言うことができる。一方発音が不明瞭なため名前を間違えて覚えていることも時折みられる。</p> <p>本書は平仮名1音ずつに絵がついている。絵の名前がわかる本児にとっては、「あり」の「あ」のように関連づけて覚えることができると思われる。また、絵本の文字を見て対応する文字を押すことを繰り返すことで、聞いた音と対応する文字とを結びつけて覚えていくことがスムーズにできると思われる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 50音を1音ずつ絵を見ながら「あり」の「あ」のように確認し、ボタンを押して音を確認する。</p> <p>(2) 教師や友達の名前を見ながら対応するひらがなを押して音で確認する。</p> <p>(3) 「もじ」の問題にチャレンジする。難しい時は「〇〇」の「〇」と絵のヒントをもとに答える。</p> <p>(4) 「もじとことば」のページを見ながら、濁音・半濁音を探しボタンを押して音を確認する。</p> <p>(5) 「たんご」の問題にチャレンジする。難しい時は絵本の「もじとことば」のページから絵を探し文字を確認する。</p> <p>(6) 「しりとり」の問題にチャレンジする。教師が読み、難しい時は絵本を見て確認する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	20
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	音の出る知育絵本②⑤ 脳科学からうまれたかおたちえほん		発行者名	ポプラ社	
図書の内容	<p>本書は、脳科学的な検証を重ねて生まれた、コントラストが強くてカラフルな配色が視覚を刺激するアイデアいっぱいの絵本である。</p> <p>赤・青・黄色で丸・三角・四角の顔のボタンが3個あり、ボタンを押すと「あか」「あお」「きいろ」の色や「まる」「さんかく」「しかく」の形、または、「にこにこ」「ぶんぶん」「えーんえーん」と表情を音声で学習できる。リズム遊びでは、3個のボタンがたいこ、タンバリン、パフパフラッパの音に変わり、リズムに合わせてながら自由にたたく事ができる。モードを変えるとボタンが光り、記憶ゲームとしても活用できる。スロットもついており、色や形のマッチングを楽しみながら学習できる。</p>				
対象学年	小学部1年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	算数
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、両下肢に機能障がいがあり、知的発達が3歳程度の知的障がいを併せ有する児童で、日常生活全般において支援を必要とする。</p> <p>朝の会では、自分が呼名されたことが分かり、顔を向けたり手をゆっくり上げたりすることができる。自分の興味のある物に手を伸ばしたり掴んだりすることができるようになってきた。</p> <p>身の回りの色や形にも興味が出ており、「まる」や「あか」という言葉が生活の中で良く使われるようになった。</p> <p>本書を使用し声掛けによりボタンをタッチしたりスロットを回したりして、形や色の弁別を楽しく学習させたいと考える。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 表情の声掛けをしながら顔ボタンを教師と一緒に押す。</p> <p>(2) 表情のまねっこ遊びをしながら気持ちを教師と一緒に確認する。</p> <p>(3) 絵本の挿絵の色やスロットで出た絵の色のボタンを押してマッチングをする。</p> <p>(4) 絵本の挿絵の形やスロットで出た絵の形のボタンを押してマッチングをする。</p> <p>(5) 数字を選んでボタンが光る回数を決め、光ったボタンをたたいたり、順番を覚えたりする。</p> <p>(6) 3個のスロットを色で揃える。</p> <p>(7) 3個のスロットを形で揃える。</p> <p>(8) ボタンを使って3までの数字のマッチングをする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。